

## 平成18年の観光客数について

### 観光客数算出における注意事項

旧下関市では5年に1度、観光動態調査を実施し、実態に近い観光客数を推計するための観光客の回遊率等の数値を求めております(今回は平成13年に実施)。しかしながら、旧4町地区(菊川、豊田、豊浦、豊北)においては、旧下関市のように観光客の地区内の回遊率を求めたための観光動態調査をこれまで実施していませんでした。

本来なら合併が行われた平成17年より、4町地区内の回遊率を用い、集計方法の変更をかけるべきところですが、平成18年に観光動態調査を実施しましたので、その結果に基づいて平成18年の観光客数の集計を行っております。この平成18年に実施した観光動態調査を基に「平成17年観光客数を再計算した表」を作成しております。この表に基づき、平成18年の概要について説明いたします。

なお、宿泊客数については、地区間の調整は不要なため、新市合計の人数です。

### 平成18年の概要

■旧下関地区の観光客数は延人数ベースでは約28千人増、率にして0.45%の増となっています。うち通年型観光客数は約76千人減、率にして1.77%の減となっています。

■旧下関地区の観光客数は実人数ベースでは約3,580千人、うち通年型観光客数は約1,596千人、前年対比約56千人減、率にして3.41%の減となっていますが、これは平成17年のNHK大河ドラマ「義経」効果がなくなったことが主な要因と考えております。また、季節型観光客数は約1,984千人、前年対比約104千人増、率にして5.51%の増となっていますが、これは国民文化祭、日本女性会議といった全国的なイベント開催により増加したことが主な要因です。

■旧下関地区の観光客数については、平成18年はNHK大河ドラマ「義経」の放映という追い風がなくなったものの、本市の官民上げての観光キャンペーン等のソフト戦略、国民文化祭などのイベント効果により昨年を上まわることとなりました。

■菊川地区の観光客数は実人数ベースで約497千人、前年対比約11千人増、率にして2.28%の増となっていますが、こちらも国民文化祭の効果と考えております。なお昨年の観光客数の発表数値より増えているのは、菊川地区内の施設間の回遊性が平成17年の想定より低かったためです。

■豊田地区の観光客数は実人数ベースで約852千人、前年対比約102千人減、率にして10.70%の減となっていますが、これは、道の駅「螢街道西ノ市」の効果が開設時に比べ減少したことが主な要因です。

■豊浦地区の観光客数は実人数ベースで約501千人、前年対比約11千人減、率にして2.16%の減となっていますが、これは川棚地区への観光客の減が主な要因です。

■豊北地区の観光客数は実人数ベースで約530千人、前年対比約13千人増、率にして2.46%の増となっていますが、これは映画「四日間の奇蹟」のロケ地となった角島への観光客の増が主な要因です。なお昨年の観光客数の発表数値より減少しているのは、豊北地区内の回遊性が平成17年の想定よりも高かったためです。

■宿泊者数は約769千人で、前年対比約1千人増、率にして0.08%の増となっています。地区別に見ると、旧下関、豊浦地区では減、菊川、豊田、豊北地区では増となっています。

観光客数

		H18	H17	増減	前年比
延 人 数	旧下関地区	6,185,539人	6,157,595人	27,944人	0.45%
	通年型観光客数	4,201,510人	4,277,106人	△ 75,596人	△ 1.77%
	下関駅地区	104,879人	110,395人	△ 5,516人	△ 5.00%
	唐戸地区	2,784,141人	2,820,226人	△ 36,085人	△ 1.28%
	火の山地区	415,293人	413,792人	1,501人	0.36%
	長府地区	284,011人	306,646人	△ 22,635人	△ 7.38%
	吉田地区	59,973人	51,518人	8,455人	16.41%
	山陰地区	111,280人	129,505人	△ 18,225人	△ 14.07%
	その他施設(旧下関)	441,933人	445,024人	△ 3,091人	△ 0.69%
	季節型観光客数	1,984,029人	1,880,489人	103,540人	5.51%
	菊川地区	520,177人	508,570人	11,607人	2.28%
	豊田地区	1,112,032人	1,250,286人	△ 138,254人	△ 11.06%
豊浦地区	551,514人	563,559人	△ 12,045人	△ 2.14%	
豊北地区	764,917人	743,832人	21,085人	2.83%	

		H18	H17	増減	前年比
実 人 数	全体	5,959,779人	6,022,812人	△ 63,033人	△ 1.05%
	旧下関地区	3,579,982人	3,532,795人	47,187人	1.34%
	通年型観光客数	1,595,953人	1,652,306人	△ 56,353人	△ 3.41%
	季節型観光客数	1,984,029人	1,880,489人	103,540人	5.51%
	菊川地区	497,322人	410,851人	86,471人	21.05%
	豊田地区	851,688人	952,634人	△ 100,946人	△ 10.60%
	豊浦地区	500,923人	507,203人	△ 6,280人	△ 1.24%
	豊北地区	529,864人	619,329人	△ 89,465人	△ 14.45%

【参考】 延人数：観光スポットやイベント等への観光客の単純合計人数

実人数：延人数の重複を考慮した観光客数

（1人が2箇所の観光スポットを訪れた場合、延人数は2人、実人数は1人となります。）

通年型観光客数：観光施設や史跡・名所など年間を通じて観光ができるスポットへの観光客数

季節型観光客数：祭りやイベントなど時期が限定される行事への観光客数

観光動態調査を基に平成17年観光客数を再計算し対比した表

		H18	H17	増減	前年比
実 人 数	全体	5,959,779人	6,001,848人	△ 42,069人	△ 0.70%
	旧下関地区	3,579,982人	3,532,795人	47,187人	1.34%
	通年型観光客数	1,595,953人	1,652,306人	△ 56,353人	△ 3.41%
	季節型観光客数	1,984,029人	1,880,489人	103,540人	5.51%
	菊川地区	497,322人	486,220人	11,102人	2.28%
	豊田地区	851,688人	953,736人	△ 102,048人	△ 10.70%
	豊浦地区	500,923人	511,974人	△ 11,051人	△ 2.16%
	豊北地区	529,864人	517,123人	12,741人	2.46%

宿泊者数

		H18	H17	増減	前年比
宿泊者数		769,044人	768,394人	650人	0.08%
	旧下関地区	597,541人	598,611人	△ 1,070人	△ 0.18%
	菊川地区	7,549人	7,441人	108人	1.45%
	豊田地区	54,322人	49,114人	5,208人	10.60%
	豊浦地区	47,211人	53,904人	△ 6,693人	△ 12.42%
	豊北地区	62,421人	59,324人	3,097人	5.22%